



干潮時の阪神橋梁下流 (7月22日)



武庫川橋下流 (7月22日)



潮止め堰転倒で現れた護岸 (水があればテナガエビの住処)



新しい護岸。テナガエビ石の隙間を住処にしてくれる？



元リバーサイト住宅付近で城山トンネルへ分岐する。



リバーサイト住宅跡地。水管橋に繋がる生活道路が唯一の進入路

6月19日まとまった降雨が有り、これ以降潮止め堰転倒された。殆ど濁水に近い日もあったが転倒状態のままで、7月22日の大潮干潮時の河床は潮止め堰撤去しただけならこのような状態になるものと思える。整備計画では、約2m掘削されることになり、干潮時の海面より低くなり常時水面が広がり現在の景観は失われ、テナガエビ釣り場も他の生きものが住み着くことになるかと思う。テナガエビ釣り人には腹立たしいかもしれないが、新しい生きものが棲みつき、新しい楽しみも生まれるものと期待したい。

木之元付近で進められていた仮設道路へ切り替えが終わり、本格的に名塩城山トンネル工事が進んで模様。交通量の少ない時間帯を狙ってトンネル掘削土砂搬出しているのか、掘削工事現場への車の出入りはなく、人知れず工事が進んでいるようだが、生瀬側入り口はまだ手つかず状態。新しいトンネル出来ても直上にある旧福知山線トンネルの一部と、有馬道と176号線分岐建つお地蔵さん。この場所にあることに意味があり、そのまま残りそうな感じでホッとす。リバーサイト住宅跡地はミニ開発の住宅地のように見えるが、リバーサイト住宅への道路がなくなり、車でのアプローチがなくなった。公園の時計も止まり人の気配はなく、徒歩で渡る水管橋利用者の通路になっている。。